

<推奨コース>

Aコース ちよつと洲崎灯台までコース。 [距離] 約500m [所要時間] 徒歩約15分



Bコース 行き帰りはバスで。洲崎灯台から洲崎神社までコース。 [距離] 約2km [所要時間] 徒歩約40分



Cコース 行き帰りは車で。洲崎神社周辺を巡るコース。 [距離] 約2km [所要時間] 徒歩約40分



<おすすめスポット>



2 洲崎灯台(すのさきとうだい)

館山のいちばん西、東京湾の入り口にある洲崎灯台は大正 8 年に建てられました。海のまちならではのシンボルです。かつて、灯台周辺にはマーガレットが咲き誇り、「マーガレット岬」の別名も持っています。マーガレットには「恋占い」「真実の愛」などの花言葉があります。美しい夕日を眺めながら、あなたの恋の行方を占ってみてはいかがでしょうか。



9 洲崎漁港(すのさきぎょこう)

洲崎漁港は、房総半島南端の館山市の最西端部に位置し、南房総国立公園の指定区域内にあり、附近には釣り宿(民宿)が数多く見られます。



10 御神石(ごしんせき)

ている。

浜に祀られている長さ 2.5mの丸みを帯びた細長い石は付近の岩石と異なる。竜宮から洲崎大明神に奉納された二つの石のひとつとされ、もうひとつは三浦半島に飛んでいったという。それは浦賀の西にある安房口神社にあり、先端に円い窪みがあることから「阿形{あぎょう}」にたとえられ、洲崎の石が口を閉じたような裂け目があることから「咩形{うんぎょう}」となり、狛犬のように東京湾の入り口を守るように祀られている。



12 洲崎神社(すのさきじんじゃ)

忌部一族による安房開拓神話に登場する安房忌部氏の祖天富命が、祖神の天太玉命を祀ったのが安房神社で、その後神の天比理乃咩命を祀ったのが当社であるといわれています。平安時代の「延喜式」には「后神天比理乃咩命神社大、元名洲神」とあり、洲神には「スサキノ神」と訓があります。鎌倉時代には源頼朝の崇敬を受け、石橋山合戦に敗れて安房へのがれた頼朝が当社へ参詣し、田地を寄進しているほか、北条政子の安産祈願もしています。また戦国時代の初めには太田道灌が当社の神を江戸城近くへ勧請して神田明神とするなど、広い信仰がありました。里見氏からは4石の社領を受け、江戸時代にも幕府から5石の社領を与えられていました。境内には文政3年の石標があり、拝殿の篇額は松平定信の筆になるものです。また3巻の当社縁起をはじめ、本殿や「オカモジ」といわれる神体髪が市の指定文化財になっているほか、8月に行われる「洲崎踊り」や神社裏の御手洗山の自然林は県の指定を受けています。

<お問合せ>

館山市観光協会
館山市北条 1879-2(JR館山駅東口) TEL 0470-22-2000